※以下の内容を記入し、**走行日から 5 日以内**に、メールにて事務局（ challenge@rt-tsukuba.jp ）までお送り下さい。
この情報は、つくばチャレンジ 2015 ホームページで共有します。

つくばチャレンジ　走行実験の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2015　本走行　2015/　11/　8（日）

ロボット No.:　1529	ロボット名：Progress-i
チーム名：帝京大学　YamaneLab	記載責任者：遠山貴則

［１］本走行前後の実験走行について

1　実験の目的

本走行でのトライアルコース走破と雨天時のデータ取得を行う。

2　実験の具体的内容と成果

2.1　実験の具体的内容

これまでの実験走行をもとにパラメータなどの調整を行った Progress-i でトライアルコースの走破を目指す。
また、本走行とその後の実験走行で雨天時のデータ取得を行う。

2.2　実験成果

本走行ではトライアルコースを走破することができなかったが、本走行後の実験走行で 2 回走破することができた。

［２］本走行について

1　設定した目標

トライアルコースの走破。

2　本走行の結果

約 270m 地点で緊急停止。芝生に乗り上げてしまったため、記録はここまでとなった。

3　どこまで目的が達成されたか

トライアルコースを走破することはできなかったが、雨天時のデータが取得できたことや雨の影響が少なかったこと、一部の要素に障害が生じた場合の対応能力の課題などが確認できた。

4　失敗した場合は、その理由として考えられること

ノート PC と LRF の通信が切断されて自己位置が正確に計算できなくなったため。

［３］運営側、実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい。